

会 議 録（１）

会議の名称	令和 7 年度第 1 回飯能市社会教育委員会議			
開催日時	令和 7 年 7 月 3 日（木） 開会 午後 1 時 3 0 分 閉会 午後 3 時 0 0 分			
開催場所	富士見地区行政センター 第 2 会議室			
議長氏名	社会教育委員代表 大野 康			
出席委員	大野 康 林 一夫 木崎 秀尚 平野 和弘	高野 淳一 岡部 暢子 福島 信子	中井 健一 山川 安代 新井 善治	矢島 得充 島田 一則 竹内 陽子
欠席委員	平野 功	久保田 篤		
説明者の 職 氏 名	生涯学習課長 同 主査	木村 由里子 筑井 利江		
傍聴者の数	1 名			
会議次第	別紙のとおり			
配布資料	1．社会教育委員の職務の分担について（案）（資料 1） 2．令和 6 年度生涯学習担当事業報告（資料 2） 3．令和 7 年度生涯学習担当事業計画（資料 3） 4．生涯学習課 生涯学習担当 事業概要等について（資料 4） 5．飯能市社会教育委員（別紙 1） 6．山つつじ NO. 3 9 7．文藝飯能 4 5 号 8．文藝飯能 4 6 号募集要項 9．「学びと HANNO」出前講座 10．文化財時報 第 1 5 3 号 11．お宝スポット 第 2 0 号 12．令和 6 年度 明るいまちづくりへの提言 13．入間地区社会教育広報 さわらび 第 5 7 号 14．人権教育 第 2 6 号			
事務局職員 職 氏 名	教育部 同 同	生涯学習課課長 生涯学習課主査 生涯学習課主任	木村 由里子 筑井 利江 吉田 翔平	

会 議 録 (2)

[illegible]

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	開会：午後 1 時 30 分
事務局	ただいまから、令和 7 年度 第 1 回 飯能市社会教育委員会議を始めさせていただきます。
	それでは改めまして、代表の大野様よりごあいさつをお願いいたします。
代 表	(大野代表あいさつ)
事務局	大野様ありがとうございました。 協議事項の議事進行につきましては、代表の大野様にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。
委 員	本日の会議は、飯能市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき原則公開とさせていただきます。
議 長	本日、傍聴希望の方はいらっしゃいますか。
事務局	1 名います。
議 長	本日は 1 名の方から、傍聴の申し込みがありました。 この会議に傍聴の申し出がございますので、傍聴の許可及び会議資料の閲覧について、皆さまにお諮りします。 傍聴の許可及び閲覧について、反対の方いらっしゃいますか。 (「なし」という声あり。) 反対の方がいらっしゃいませんので、傍聴を許可したいと思います。 <傍聴者入室> 傍聴人の方へお願いです。 審議会等の公開につきましては、飯能市審議会等の公開に関する指針により、会議資料は閲覧となりますので、ご了承ください。途中退室時、または会議の終了の退室時は、資料を置いての退室をお願いいたします。 また、審議会の長は、会場の秩序の維持に努めるものとされており、必要と認めるときは傍聴人の退席を命ずることができるとされておりますので、ご承知おきください。

	協議事項に入ります。次第に沿って議事を進めて参ります。 (1) 社会教育委員の職務の分担について（案）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料 1 に基づき説明)
議 長	それではただいまの説明について、ご意見やご質問のある方は挙手をお願いいたします。
議 長	具体的に決める必要があるのは 3 番の「飯能市青少年問題協議会委員」でしょうか。
事務局	3 番の飯能市青少年問題協議会委員につきましては、副代表の出席が可能であればお願いしたいと思います。
議 長	今年度の職務については、任期途中ということで、お示しのと通りの役割で承認ということによろしいでしょうか
委 員	(「承認」という声あり。)
議 長	協議事項 (2) 令和 6 年度の生涯学習課の事業報告について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料 2 に基づき説明)
議 長	それでは、ただいまの説明について、ご意見やご質問のある方は挙手をお願いいたします。
議 長	飯能市の成人式の名称は何でしたか。
事務局	飯能市成人式～二十歳の祝い～になります。
委 員	生涯学習フェスティバルは、近年パネルディスカッションや“災害報道・防災講座の講演会をやっていますが、昨年行った講演は、生涯学習課長が探して事前にその講演を見に行き、講師を見つけてきて講演会を行いました。すごい良い取り組みをしてもらいました。とても高い評価をしています。
議 長	ありがとうございます。ほかにございますか。 (意見・質問なし)

	続きまして、(2) 令和 6 年度の生涯学習課の事業報告について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料 3 に基づき説明)
議 長	それでは、ただいまの説明について、ご意見やご質問のある方は挙手をお願いいたします。
議 長	確認ですが、令和 7 年度の事業についても、緊急財政対策について織り込み済みということでしょうか。
課 長	協議事項 (4) の時に詳しくご説明をさせていただきますが、緊急財政対策を今年度・来年度実施しています。 本市の財政状況はとても厳しい状況になっています。今年度の予算編成の際には、昨年度の予算と比較して、40 億円を上回る予算要求となりました。理由としましては、皆さんご承知のとおり、少子高齢化による社会保障関係費の増大、各施設の老朽化が進んでおり、公共施設の維持管理経費に大きな費用がかかっている状況です。その調整を今年度予算を編成する際に、例えば事業先送り、いわゆる本来今年度やるべきものだったところを、さらに翌年に先延ばししたり、事務事業の縮減を行い、歳出抑制を行いました。それでもどうしても財源が足りない部分については、財政調整基金と言って、本来であれば災害の時ですとか有事の際に財源不足を補うために余剰金として積んでおくもの、一般のご家庭で言えば貯金をしておくというところでしょうか、そこを取り崩して、何とか令和 7 年度の予算を作成したところです。今年度の事業計画にお示ししたのについては予算化はしていますが、お話ししたように緊急財政対策期間が令和 7 年度、8 年度となっておりますので、歳出の抑制についてはできる限り努力をなさйтеというような状況です。事業計画でお示ししている令和 7 年度事業の中で実施できないものがあるかということ、今の時点では予算化していますので、原則、計画どおりに進めていくということになります。
議 長	ありがとうございます。ほかにございますか。
委 員	2 点質問をさせていただきます。1 つ目は、大学の公開講座についてですが、I から IV までテーマを決めというようなことが書いてありますが、テーマや目的が決まっているものか教えていただきたいです。2 つ目ですが、成人式の事業についてで、事業実績を見ると年々出席者が減っているように見受けられますが、アンケートを取っているのでしょうか。取っているとしたら、こんなところが良かった、というような話が出ているのか今後の参考に伺いたいです。

課 長	市民の大学については、駿河台大学と共催で行っているものになります。令和7年度については、もうすでにテーマが決まっており、Ⅰ・Ⅱ・Ⅳについては駿河台大学の方でテーマを決めて、それぞれの講師を決めて実施するものです。すでに今年度実施したものもあります。 Ⅲについては、「埼玉の中世－飯能地方を中心として－」と題して、8月から9月に行われるものです。生涯学習課の方でテーマを決め、講師を選定し開催するものです。 Ⅰ・Ⅱ・Ⅳは土曜日に実施しており、Ⅲについては、平日の午後実施している状況です。昼間にやっていることからどうしても対象は大人になろうかと思えます。テーマ決めについては、Ⅲの生涯学習課が受け持つ回については、生涯学習課の文化財担当に協力してもらいました。昨年度文化財担当で計画を作り、その計画の中身を周知したり、これから市の文化財の指定に向けて、市内の方々や市外の方々にも知っていただきたいというところから、あえてポイントを絞って実施します。また、駿河台大学の方でテーマ決めしているものについては、ご承知のとおり、学部がスポーツ科学部、心理学部、法学部等ございますので、例えば昨年のテーマで見えますと、「地域を元気にするからだ、地域で元気になるからだ」については、スポーツ科学部の講師の方や准教授の方がそれぞれの視点から体を鍛えたりとか、体の構造を説明したり、というような、講座を実施しているということです。1つのテーマで4人の先生がいて、それぞれの視点で講義を行うことになっています。 次に成人式でございますが、今年の1月にアンケートを取らせていただいたのですが、アンケートの周知がうまくいかず、回答していただいた方がとても少なかったところではございます。 式典の出席率については、確かに若干下がり気味というところもありますが、その年その年で、例えば社会人の方が多くて式典に出れたり、学生が多く出れなかったり、色々な事情があろうかと思えます。 近隣の入間市、所沢市、狭山市等を確認をしてみても、おおむね同じような数字で65%から70%ぐらいの出席率となっていることから、飯能市が特に少ないということではないと思います。それから式典の内容につきましては、先ほど担当から説明をさせていただきましたように、記念品を新成人の方にお渡しをさせていただきました。また、皆さんご存じのとおり、メツァがありますので、ムーミントロールに特別ゲストとして登場してもらったりとか、飯能市PR大使の方にビデオメッセージでご出演いただいたり、なるべく前年と被らないような内容で、新成人の方が来て良かったなと思っていただけるようなものを試行錯誤しながら毎年内容を決めているということです。
議 長	ありがとうございます。駿河台大学の平野先生、市民の大学の件で、何か補足など何かありますか。

委 員	学部の特徴を出しながら、その専門性と今、発信しなければいけないことを全学で検討して出しています。
議 長	先日、駿河台大学の関係の方と話す機会があり、地域になくてはならない大学というものをすごく目指されている、と言っていました。飯能市にとってもなくてはならない大学と思うところです。お互い昔は人事交流があったと思うのですが、今はそういう時代ではないので、こういうかたちで続けてほしいと思います。 財政的な話ですが、それぞれの講師謝金と周知等に莫大なお金がかかっているとかはありますか。
課 長	この市民の大学を始めたきっかけは、市内で初めて大学ができたということで、教育委員会から大学にお願いをしたという経緯から、今は駿河台大学の方に負担金をお支払いさせていただいています。周知等については、駿河台大学のホームページに掲載していただいたり、共催でもありますので、飯能市広報にも掲載し周知しております。
議 長	ありがとうございます。 もう一点、成人式は今年度は令和 8 年 1 月 11 日となっており、成人の日の前の日というのはこれはすごくいいと思っていますが、どのように日程を決定しているのか伺います。
課 長	日程につきましては、近隣の日高市、狭山市、入間市等と調整をして、来賓で来ていただく方の日程や美容院の関係など、近隣市と被らないようにということで以前調整したという経緯は聞いています。
議 長	もう一点は、成人年齢の引き下げで全国的に成人式は 18 歳なのか 20 歳なのか、もう何年も前に議論になりましたが、飯能市がこういう形式にした後、検証をしているのか伺います。
課 長	実際に良いか悪いかの検証したわけではありませんが、民法改正で 18 歳にするか 20 歳にするかという議論はありました。18 歳ですと高校生の方もいらっしゃること、大学受験や就職活動等で忙しい時期でもありますので、飯能市としては 20 歳と決めたところです。 18 歳に成人式を引き下げたところ、なかなか出席率が良くないことから 20 歳に戻したというところもあるようです。
議 長	ありがとうございます。ほかにございますか。
委 員	成人式に絞って伺いますが、この事業概要というところで、令和 6 年度と

	7年度の概要が同じような内容が書かれています。どちらの説明も「人生の節目として新成人に責任と自覚を促すとともに、郷土を愛する心を持ってもらう場」と書いてありますが、これは2年続けてこのような目的のもとに、実際に事業を行って、その結果人数だけではなくて、今年はこういうことに特化してこの取り組みをします、という内容を事業に設けた方が良いと思います。例えば令和6年度では、「自覚を持ってもらう」だけど、令和7年度では、例えば学生さんもある、働いてる人もある、そんな中で、どこに特化して郷土愛を持ってもらうのか、ということです。 そして自覚というのは例えば、先ほどの立場が違えば、自分で税金を収めてる人もいれば、納めていない人もいる、そういった細かいところで、年々こういうところが変わってるんだっていうところが分かるようなかたちで、お示しした方が良いのではないのでしょうか。全ての事業で前年度と今年度の事業概要が同じではなく、一般の方々が見ても分かりやすく、もっと細かいところで1つ1つの成果が見えず評価がしづらいが、どのように考えるか伺います。
課 長	貴重なご意見ありがとうございます。この事業概要の指しているところはそもそも事業の目的であるかと思います。今、成人式についてお話しいただいたとおり、人生の節目として、新成人に責任と自覚を促すというところは不変的であると個人的には思います。 それから郷土を愛する心を持つということも変わらないと思いますので、例えば実施内容、実施実績のところに委員が言われたような令和6年度はこういうことをやりました、こういうアンケートやりました、その結果がこうでした、記念品は何を渡しました、というように事業結果が分かり易いように報告については努めていきたいと思います。
議 長	ありがとうございます。ほかにございますか。
委 員	生涯学習課の事業を見ていて、青少年健全育成事業で放課後子ども教室、子ども大学はんのうの事業は続けてほしいと感じています。 私の娘は奥武蔵小学校に通っていて、放課後子ども教室を毎週月曜日に行っていますが、楽しく参加させていただいています。その中で、1年生から6年生全学年対象に行っている中で、1・2年生の低学年の時はやっぱり何事も楽しく参加するが、だんだん高学年になっていくにつれて、自分の好きなものとそうでないものが出てきて、この内容の時は参加する、参加しないがはっきりとしてくるという面もありますが、このような事業を続けていただけると、ありがたいです。全校児童80人ぐらいではありますが、学校から帰ってしまうとお互い自宅が遠いため、みんなで遊ぶということがほとんどない状況です。特認校制度を使って飯能市内の方から来ている方は20人くらいいますが、皆で一緒に学べる機会があるというのは本当に保護者としてはありがたいことです。事業費が少なくなってしまうのであれば、

	2週間に1回、もしくは月1回でも良いので事業を継続してほしいです。また、子ども大学はんのうですけれども、うちの娘は3人とも1回は参加させていただいています。学べることが多く、特に大学という施設を使って活動させていただくとこどもの目が違ってみえますし、他校のお子さんと一緒に協力して何かをやっていくということで、いろいろなものが芽生えてくるのではないかと私の方も実感しました。予算の関係もあると思いますが、継続して事業を続けてほしいと思います。
議 長	ありがとうございます。ほかにございますか。 (意見・質問なし)
	協議事項(4) 今後の事業の在り方について、事務局から説明をお願いします。
課 長	先程、緊急財政対策について少しご説明させていただき、一般家庭に例えて今年度予算を何とか編成した旨をお話ししました。本来、基金は有事の際等で多額の財政出動が必要な時に取崩すものです。 基金残高は標準財政規模の1割が必要であると言われていています。本市であれば約20億円必要なところ、今年度末にはその四分の一である約4億円となってしまうということから、市を挙げて緊急財政対策に取り組むこととなりました。 緊急財政対策では目標を2点掲げています。財政調整基金を令和8年度末までに20億円以上確保することと、歳入規模に見合った歳出額への転換をすることです。 今ある事業を漫然と継続するのではなく、より良くするためには、また、続けていくべきかという視点で、委員の皆様からご意見をいただきたいと存じます。 ついては、事前にお配りしました資料に基づき、事業概要等をご説明いたします。 (資料4に基づき説明)
議 長	それでは、ただいまの説明について、各委員の皆様から順番にご意見やご質問をお願いいたします。
委 員	どの事業も必要だと強く感じています。特に成人式は、こどもたちがあの会に参加して、久しぶりに仲間と出会えるということ、一緒に時を過ごせるということは非常に意味があるのかなと思うところです。また、何らかの記念になるものも必要なのかなと思います。
委 員	少子高齢化、生産人口低下という厳しい状況の中、示された内容を見ると非常に厳しい状況であることに気が付きました。こどもたちが小学校・中学

	校と育って高校はいろいろなところに散らばって、大学進学または就職して状況は変わるけれども、また飯能に戻ってきて飯能を知るのかなと感じています。また、繋がりの中で、人と人との繋がりをつくるいい機会だと思っています。ただ、現状は財政難であるということで、現状としては何かをやっぱり削らなければいけないというのがあると思うので、何か工夫をしてできないかと思っています。何を削れば良いということは言えませんが、思い切ってバサッと切ってしまった方が一番いいのかなとも思いますが、そうはいかないと思うところで、正直事業が多いと感じています。
委 員	色々な事業の予算を伺って私は一桁足りなかったのかなと思いました。その中でも成人式の開催事業は150万円と聞いて、もっとするんじゃないのかなという実感がありました。それで予算が財政的にも事業数があるので、大変と言われるのかと思っていました。話を聞いてると20万円、30万円でそんなに大きい額ではなく、出そうと思えば出せるような金額なのにこのような会で話をされるということは、本当に大変なんだと切迫さを感じました。 その中で、成人式は、本当に人生に一度しかない事業なので、やっぱり削るべきではないと思います。その他に市民講座、色々な講座もありますが、私の学校では家庭教育学級で出前講座を利用させていただいています。出前講座はお金がかからないので利用しやすいです。保護者としても子どもと一緒に学べるいい機会であると感じているので続けてほしいです。
委 員	成人式ですけれども、これは親の立場としても1つの節目を迎えたなということで、本当にこれは欠かすことのできない事業だと思います。子どもだけ、先生方だけではなく、家族にとっても大切な日と思っています。 他には大学公開講座は、私も以前受けたことがあり、現在の形式とは違いましたが、前期後期10回ずつで色々な講師の方から講座を受けることができました。本当に1,000円の受講料でこんなにお話を聴けるなんて、もっともお金に出しても良いのではと思うくらい、自分は感動した記憶があります。今は日程的に合わないため参加はできていませんが、また行けるタイミングがあって、聴きたいテーマがあれば参加してみたいと思っていますので、できるだけ継続をしてほしいと思います。
委 員	地域が活性化することはあんまり好きではないけれども、元気にするためには文化が間に入る必要があると思います。生きていくためだけですか、もっと言うなら、人との関係性を繋ぐだけではなくて、繋ぐ間に必ず文化が必要で、そういう意味では、こういう活動にお金をかけるべきだと思いますし、他のものが縮小されるとしてもそれを打って出ないといけないと感じています。特に飯能市のように、ちょっと都会に近いけれども、山もあり緑もあるという豊かな自然資産があるところは、その文化をもとに住民活性化する、もっと言うなら元気を出すということです。そういう意味ではもっとやっても良いと思います。先程話の中で、駿河台大学を出していただいたが、

	今生き残り策が大変な状況ですが、幸いなことに、大学は充足していて定員数は自足しています。それでも地域で生きていくことに覚悟決めてる大学だと思ってますし、他大学と比較するとやはり飯能と駿河台大学が一直線につながる珍しい地域でたくさん活用していただきたいです。先週は、名栗小学校のこどもたちがピクニックか何かで来ていて、大学敷地の真ん中に芝生があるのですが、そこでこどもたちがニコニコしながら走り回ったり、お弁当を食べている姿を見ていたら、講義を受けている学生たちもやはり雰囲気が一気に柔らかくなり、また、講義の最中に「こどもたち可愛かったね。」と話がありました。学生たちにとっても地方から来ている学生が多いので、やはり飯能で生きていくといった時に、飯能のこどもたちにボランティアだとか、もっと密接につながるような企画ができないかと思っています。また、市民講座の講師としてかかわったことがあります、とても熱心に受講していただくと、教える側も力が入るのです。大学側に任せるだけではなくて、こういうのをやってもらいたいとか要望を出すことも必要かと思います。大学は専門性を生かす、大学も飯能市が何を望んでるかということは、多分大学内にいる限り分からないので、これやってください、と言えば文化系の総合大学なので、その専門家は必ずいると思います。一緒に地域連携していく中で、文化予算はやはり削らないで、もっと増やすような方向の議論をした方が良くないかと思いました。
委 員	1つ思うのは昔から言われていますが、人づくりは国づくりだと思っています。とても人を学ばせる場所、また惑わせることを大人が保護していくことがとても大事だと思うのです。少子高齢化が進み、そして色々な文化を継承と言いますが、簡単に継承する人がいなくなるんです。人に関わる事業はできるだけ、これから先、生まれてくるこどもたちのためにも是非ともその場所であったり、土地の文化を無くさないで継承していくことには一生懸命追求していけば良いのではないかなと思います。
委 員	予算的に見ても金額が280万円ということで、建物を作るとか、工事を行うというようなものであれば入札等で残金が出たり、入札差金があるという話になってくると思うのですが、生涯学習課の予算については、金額的にも本当に限られた中でやっている事業であるし、出前講座などは続けてほしいです。我々の民生委員も年2回ぐらい利用させていただいていますが、非常に勉強になっています。また、こどもたちにも良い思い出を作ってもらおうというようなことが、我々大人としての義務として、将来こどもが大きくなって、飯能市に住んでもらおうということで、飯能市の良い思い出づくりになれば良いかなと思っていますので、なかなか予算減額というのは難しいなと思っています。
委 員	どうしてもどこかを削らなくてはならないというのであれば、美術展なのかと思います。平成12年度に廃止の方針を打ち出したものの現在に至る、

	と書いてありますが、詳しいことがもう少し分かったら何とかなるのではないかと思います。これを実際に廃止するとかということではなくて、他のものと一緒にやるとか、何か考えられたら少し予算が削れるのではないかと思います。美術関係に疎いので、関係者の方に見てみたらとんでもないと言われるかもしれませんが、そのように感じました。
委 員	自治会の関係で、年間2回ぐらい講演会とか研修会を実施しますが、まず最初に出前講座を検討し、最近は明治安田生命が行っている無料の講座があるので、そういったところとコラボして調整するというのはいかがでしょうか。
課 長	出前講座は、所管課の職員が行くことになるので、予算として分かりづらいかもかもしれませんが、人件費が掛かっています。明治安田生命の無料講座については、存じ上げていないので調べさせていただきます。
委 員	何年か前から、飯能市だけではなく、経済が下向きになって一番最初に削られるのは文化になっていると感じます。本来は無くてはならないものだと思いますが、無くても死にはしないよね、という部分が一番最初に削られるのではないかなと予想していましたが、そのとおりになってしまったと感じました。生きていくために一番大切な部分で、私も子どもたちにお囃子を教えたりしていますが、そういう文化継承のようなものが無くなってしまって良いのか、そうではないと思っています。考えるに縦割りの行政の悪いところを言いますが、同じようなイベントなり、行事が毎週のように行われているとか、あの事業とこの事業を一緒にやればと提案すると、お金の出所が国と県で別々の補助金を使っているからダメと言われると難しいでしょうが、横の連携を密にして、事業を統合していくなど、そういうことをやっていかないと無駄遣いに感じてしまいます。 今回の説明で言えば、文化祭と美術展を分ける必要があるのかと感じました。元々一緒に行っていた経緯があるのであれば、以前に戻して一緒にできないのかなと思います。生涯学習フェスティバルについては、令和8年2月21日の土曜日とご説明ありましたが、その一週間前に我々の郷土芸能フェスティバルを同じ市民会館で開催しますが、大ホールしか使わない状況です。全館貸し切りで行っているイベントであれば、同じ日に同じ会場で抱き合わせでできないのかと思います。そうすれば、生涯学習フェスティバルへも協力できる人員も増えますし、予算も別々だったものを少しずつ削る必要が出るでしょうが、多少の削減にはなると思います。なかなか難しい話かとは思いますが、そういったことも含めて、話し合いをしていくべきものではないかなとは思っています。
委 員	飯能第二小学校の放課後子ども教室には、どのくらいの予算を掛けているのでしょうか。かなりの予算を掛けてやってもらっているかと思いますが、

	地域の方々の参画を得ながらと書いてあるものの、うまく地域を取り込んでいないように感じるので検討してほしいです。我々、飯能第二小学校区域には「振興会」という組織があります。目的は、小規模特認校である飯能第二小学校を盛り上げていこうということで、色々なことを考えて行っています。 全ての行事は、私はすごく大事なものだと思っているので継続してもらいたいです。 成人式は、先生方もお話されたようにこどもたちにとっても一番の記念の日となるようにやってほしいです。それがもし予算が厳しいという状況のようであれば、記念品を少し安いものにするとか工夫して継続して記念品をお渡しできないかと思っています。 放課後子ども教室に戻りますが、転校してきた家族が、放課後子ども教室に劇団を呼んで事業を行っているという内容に驚いていたという話を聞いて素晴らしいことをやっていると言っていました。そこまでお金を掛けてやらなくても、学校の魅力は出せるのではないかと個人的に思いましたがいかがでしょうか。
課 長	今、お話しいただいた内容については、ソニー・ミュージックと飯能市が基本協定を結び、放課後子ども教室で一流の指導の基、一流のものに触れましょう、ということで続けているものです。1年間で放課後子ども教室は、1校25回から30回までのうちのソニー・ミュージックの学習プログラムは8・9回の学習プログラムをお願いしています。ソニー・ミュージックの学習プログラムを皆無にすることはなかなか難しいのですが、別の学習プログラムに置き換え、地域の資源を使うということも大事だと思いますので、そういったことも考えていきたいと思います。また、放課後子ども教室については、他の委員からもご意見いただいたように我々とするのと続けていきたいと思っているところです。
委 員	飯能第二小学校は、児童が23名しかいません。なおかつ、そういう中でも市の予算を確保していただくのはありがたいことですし、振興会という組織にも感謝しています。 だからこそ、地域ではみんなでどうにかして、もっと魅力ある学校にしていこうと日々努力していますが、その中でも予算を少しでも削って市民の皆さんが努力してやっていくしかないのかなと私は思います。
委 員	具体的なお話をなかなか皆さんされませんでした。やはりそこに踏み込まないことには次に行けないのではないかと思います。それでも、その数字で考えると私はもう明らかなだと思っているのですが、新成人への記念品代の120万円、これがもう突出して多いわけで、この記念品をお金ではなくて、やはり心があれば気持ちが伝わるということを優先して、金額をもっともっと減らしてしまっても構わないのではないかと思います。

委員	事業に関しては、我々は全部を把握してるわけではないので、やはり市役所の職員は全体の中で横の連携を考えてほしいです。 これとこれは繋がりがあるんじゃないか、そういうのはよく把握しているわけですから、その辺の情報を実行委員会や組織に伝えてもらって、もっとスリム化できるとか、創意工夫によってスリム化するとかできるのではないかと思います。そういう中で、文化活動自体は廃れないようにしていったほうがいいと思います。 例えば、今流行りのふるさと納税の返礼やクラウドファンディング等があるので、例えば飯能市の文化を守るという切り口で大きく皆さんにお金を募るか、実際にできるかどうかはともかくとして考えてみるべきです。やはりどこの担当課も知恵を絞って汗をかいっていけばいいのか考えるべきです。毎年寄附を募るのは難しい話ですが、とりあえずこの2年をなんとか凌ぐという記事を見て、聖域なき事務事業の見直しというように出ています。成人式について言えば、来賓で呼ばれて式典に参加すると恩師の先生方のなんと嬉しそうなこと、そこに来てくださる恩師の中学校や小学校の先生方はみんなから慕われてる先生だから、本当に紹介されると会場の新成人も本当に嬉しそうにしています。今年の1月の成人式にはムーミントロールが現れたのは私も知らなかったですし、飯能市民の方もあまり知らないと思いますが、例えば大阪、札幌、福岡では認知度がとても高いんだそうです。 飯能市と言われても全然認知されていないけれど、「メッツアがある。」と話すと「あの！」という反応があるくらいです。フィンランドはテーマパークがあっても冬の間は閉めていて、夏の何か月かしか開きません。それを通年でやっているところが、市内にあるということをもっともっとアピールすべきではないでしょうか。宝物と一緒に生きてるはずなんだけど、身近にあり過ぎてムーミントロールが出てきてもあまり感動がない印象です。全世界にはコアなファンがいっぱいいます。ムーミンと共存しつつ、やはり飯能の歴史、文化をきちんと守っていくということをして、一度出たこどもたち・若者が戻ってきて、そこで過ごしたいと思ってくれるようなところにするという意味では、成人式に工夫が必要だと感じています。その他、駿河台大学との連携もそうですし、文化祭に生涯学習フェスティバルにしても、一旦全部白紙にしてとかではなくて、今までのものを踏まえながら、今までの経緯を見てもマイナーチェンジしてみたり、大きく変更したり、コロナ禍もあつたりとかしているんで、そういう意味では、聖域なきといってもどこを見ても工夫の余地はある、ということを行っているのではないかという気がしています。 議長 皆さんご意見等いただきありがとうございました。 それでは、最後の協議事項(5)、情報交換になりますが、委員の皆さんから何かございますか。
-----------	--

事務局	(「なし」という声あり。) ありがとうございました。 これで本日の協議事項全てを滞りなく終了することができました。これをもって議長の任を解かせていただきます。 4 その他 全体を通してご質問がありましたらお願いします。 (なしの声) (閉会のあいさつ) 以上をもちまして、令和7年度第1回飯能市社会教育委員会議を閉会いたします。 閉会：午後3時00分
議事の顛末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します 令和 年 月 日 議 長 の 署 名 _____	